

教科	科目	単位数	学年	集団
体育	スポーツⅡ	1	3	スポーツ探究科

使用教科書	副教材等
なし	アクティブスポーツ（大修館書店）

科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。
- (2) 球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身につけている。
②思考・判断・表現	球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与しようとしている。

評価方法

- ① 知識・技能（行動観察 授業ノート チェックテスト）
- ② 思考・判断・表現（行動観察 授業ノート）
- ③ 主体的に学習に取り組む態度（行動観察）

学習計画

月		単元や題材などの内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
			①	②	③
4	バスケットボール ゴール型球技	シュートについて理解し、基本技術として習得する。 パスについて理解し、基本技術として習得する。 ドリブルについて理解し、基本技術として習得する。 各自の課題を見つけ、解決の方法を考える。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
5		各自の課題を見つけ、解決の方法を考える。 確率の高いシュートを打つために、ボールを操作し、ボールを持たないときに空間に走り込むことが出来る	○ ○	○ ○	○ ○
6		ルールについて理解し、試合が運営できるようにする 基本技術についてのチェックテスト	○ ○	○ ○	○ ○
7		基本技術に基づいてゲームをする。 個人の役割を意識して、仲間と協力してゲームができる。	○ ○	○ ○	○ ○

9	バスケットボール ゴール型球技		個人およびチームの課題の解決を目指す。 戦術を重視したゲームを展開する。	○	○	○
			スローの種類について理解し、基本技術として習得する。	○	○	○
10	アルティメット		パスドリルでスローの修練・キャッチの仕方など基本技術として習得する。	○		
			ディフェンスの方法を理解し、安全に技術を学ぶことができる。	○	○	
			ルールについて理解し、試合が運営できるようにする。	○		○
11			基本技術についてのチェックテスト	○		
			各自の課題を見つけ、解決の方法を考える	○	○	○
12			個人およびチームの課題の解決を目指す	○	○	○
1			戦術を重視したゲームを展開する。	○	○	○
			ルールについて理解し、試合が運営できるようにする。	○	○	○
2						
3						